

自己評価・外部評価・運営推進会議活用ツール

No.	タイトル	評価項目	自己評価	記述	運営推進会議で話しあった内容	外部評価	記述
I. 理念・安心と安全に基づく運営							
1	理念の共有と実践	地域密着型サービスの意義をふまえた事業所理念をつくり、管理者と職員は、その理念を共有して実践につなげている	A. 十分にできている B. <u>ほぼできている</u> C. あまりできていない D. ほとんどできていない	2ヶ月に1回開催している全体会議で理念斉唱している。また、施設内に掲示している			
2	事業所と地域とのつきあい	事業所は、利用者が地域とつながりながら暮らし続けられるよう、認知症の人の理解や支援の方法などを共有し、事業所自体が地域の一員として日常的に交流している	A. 十分にできている B. <u>ほぼできている</u> C. あまりできていない D. ほとんどできていない	地域の行事に積極的に参加している。地域の勉強会などへの協力を積極的に行っている	入居者の馴染みの美容院に行ったり、地域の勉強会の講師依頼を積極的に受け入れたり、カフェを開いたりしているのである程度行えている		
3	運営推進会議を活かした取り組み	運営推進会議では、利用者やサービスの実際、評価への取り組み状況等について報告や話し合いを行い、そこでの意見をサービス向上に活かしている	A. 十分にできている B. ほぼできている C. <u>あまりできていない</u> D. ほとんどできていない	今年度から第三者評価を運営推進会議で行う	今年度運営推進会議で外部評価を行っていることで運営推進会議が活用できていると考えられる		
4	市町村との連携	市町村担当者と日頃から連絡を密に取り、事業所の実情やケアサービスの取り組みを積極的に伝えながら、協力関係を築くよう取り組んでいる	A. 十分にできている B. ほぼできている C. <u>あまりできていない</u> D. ほとんどできていない	必要時は連絡を通る。運営推進会議で情報交換は行っている	運営推進会議に市の職員が参加している。また、必要時は相談できている		
5	身体拘束をしないケアの実践	代表者および全ての職員が「介護保険法指定基準における禁止の対象となる具体的な行為」を正しく理解しており、玄関の施錠を含めて身体拘束をしないケアに取り組んでいる	A. 十分にできている B. <u>ほぼできている</u> C. あまりできていない D. ほとんどできていない	勉強会開催。カンファレンスでの話し合い。		A. 十分にできている B. <u>ほぼできている</u> C. あまりできていない D. ほとんどできていない	勉強会などで学ぶ場がある
6	虐待の防止の徹底	管理者や職員は、高齢者虐待防止関連法について学ぶ機会を持ち、利用者の自宅や事業所内での虐待が見過ごされることがないように注意を払い、防止に努めている	A. 十分にできている B. <u>ほぼできている</u> C. あまりできていない D. ほとんどできていない	研修への参加。勉強開催		A. 十分にできている B. <u>ほぼできている</u> C. あまりできていない D. ほとんどできていない	勉強会などで学ぶ場がある
7	権利擁護に関する制度の理解と活用	管理者や職員は、日常生活自立支援事業や成年後見制度について学ぶ機会を持ち、個々の必要性を関係者と話し合い、それらを活用できるよう支援している	A. 十分にできている B. <u>ほぼできている</u> C. あまりできていない D. ほとんどできていない	勉強会開催している			

8	契約に関する説明と納得	契約の締結、解約また改定等の際は、利用者や家族等の不安や疑問点を尋ね、十分な説明を行い理解・納得を図っている	A. 十分にできている B. <u>ほぼできている</u> C. あまりできていない D. ほとんどできていない	入居前の説明を行っている			
9	運営に関する利用者、家族等意見の反映	利用者や家族等が意見、要望を管理者や職員ならびに外部者へ表せる機会を設け、それらを運営に反映させている	A. 十分にできている B. <u>ほぼできている</u> C. あまりできていない D. ほとんどできていない	運営推進会議を行っている。		A. 十分にできている B. <u>ほぼできている</u> C. あまりできていない D. ほとんどできていない	今後運営推進会議で評価を行っていく
10	運営に関する職員意見の反映	代表者や管理者は、運営に関する職員の意見や提案を聞く機会を設け、反映させている	A. 十分にできている B. <u>ほぼできている</u> C. あまりできていない D. ほとんどできていない	月1回法人の連絡会議を開催している			
11	就業環境の整備	代表者は、管理者や職員個々の努力や実績、勤務状況を把握し、給与水準、労働時間、やりがいなど、各自が向上心を持って働けるよう職場環境・条件の整備に努めている	A. 十分にできている B. <u>ほぼできている</u> C. あまりできていない D. ほとんどできていない	個人面談を行い、研修などに派遣している		A. 十分にできている B. <u>ほぼできている</u> C. あまりできていない D. ほとんどできていない	個別面談を行っている。全体会議もある。法人連絡会議もある。
12	職員を育てる取り組み	代表者は、管理者や職員一人ひとりのケアの実際と力量を把握し、法人内外の研修を受ける機会の確保や、働きながらトレーニングしていくことを進めている	A. 十分にできている B. <u>ほぼできている</u> C. あまりできていない D. ほとんどできていない	随時研修派遣している。全体会議で勉強会を行っている。カンファレンスで話し合いの場を設けている。		A. 十分にできている B. <u>ほぼできている</u> C. あまりできていない D. ほとんどできていない	全体会議時に勉強会を行っている
13	同業者との交流を通じた向上	代表者は、管理者や職員が同業者と交流する機会を作り、ネットワークづくりや勉強会、相互訪問等の活動を通じて、サービスの質を向上させていく取り組みをしている	A. 十分にできている B. ほぼできている C. <u>あまりできていない</u> D. ほとんどできていない	交流する機会は少ない	必要なら行う方向で大丈夫と考えられる		
14	本人と共に過ごし支えあう関係	職員は、本人を介護される一方の立場におかず、暮らしを共にする者同士の関係を築いている	A. 十分にできている B. ほぼできている C. <u>あまりできていない</u> D. ほとんどできていない	業務に追われている。一緒に過ごすことの大切さは全体会議で話している	できること役割活動は行えている		
15	馴染みの人や場との関係継続の支援	本人がこれまで大切にしてきた馴染みの人や場所との関係が途切れないよう、支援に努めている	A. 十分にできている B. ほぼできている C. <u>あまりできていない</u> D. ほとんどできていない	希望あれば対応する。しかし、あまり交流はない	家族の面会や外出支援行っている。面会も自由である。通っていた美容院へ行く支援もおこなっている		

II. その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント

16	思いや意向の把握	一人ひとりの思いや暮らし方、生活環境、一日の過ごし方の希望や意向の把握に努めている。	A. 十分にできている B. ほぼできている C. <u>あまりできていない</u> D. ほとんどできていない	本人、家族から聞き取り行うがあまり情報は集まらない。	家族とのコミュニケーションが少ない。情報発信と情報収集どちらもおこなテイク必要ある		
17	チームでつくる介護計画とモニタリング	本人がより良く暮らすための課題とケアのあり方について、本人、家族、必要な関係者と話し合い、それぞれの意見やアイデアを反映し、現状に即した介護計画を作成している	A. 十分にできている B. ほぼできている C. <u>あまりできていない</u> D. ほとんどできていない	本人のケアについてカンファレンスを3ヶ月に1回行っている。家族の参加も呼びかけているが参加する家族は少ない。課題があれば家族と個別で話をする場を設けている	定期的に職員が集まりカンファレンスを行うことで十分行えている	A. 十分にできている B. <u>ほぼできている</u> C. あまりできていない D. ほとんどできていない	毎月カンファレンスを行っている
18	個別の記録と実践への反映	日々の様子やケアの実践・結果、気づきや工夫を個別記録に記入し、職員間で情報を共有しながら実践や介護計画の見直しに活かしている	A. 十分にできている B. <u>ほぼできている</u> C. あまりできていない D. ほとんどできていない	毎日の介護記録、申し送り、連絡帳などで情報共有は行っている。		A. 十分にできている B. <u>ほぼできている</u> C. あまりできていない D. ほとんどできていない	毎日介護記録を書いている。家族も閲覧できる
19	一人ひとりを支えるための事業所の多機能化	本人や家族の状況、その時々生まれるニーズに対応して、既存のサービスに捉われない、柔軟な支援やサービスの多機能化に取り組んでいる	A. 十分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. <u>ほとんどできていない</u>	ほぼ施設のサービスと連携医院の対応で行っている。しかし、必要なら連携は行っていく	施設、連携医院とで十分行えている		
20	地域資源との協働	一人ひとりの暮らしを支えている地域資源を把握し、本人が心身の力を発揮しながら安全で豊かな暮らしを楽しむことができるよう支援している	A. 十分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. <u>ほとんどできていない</u>	地域の資源を活用することは少ない	地域との協働は少ないが必要な方向で大丈夫と思える		
21	かかりつけ医の受診支援	受診は、本人及び家族等の希望を大切にし、納得が得られたかかりつけ医と事業所の関係を築きながら、適切な医療を受けられるように支援している	A. 十分にできている B. <u>ほぼできている</u> C. あまりできていない D. ほとんどできていない	真下胃腸科医院を主治医としてもらっている。しかし、希望あれば対応する			
22	入退院時の医療機関との協働	利用者が入院した際、安心して治療できるように、また、できるだけ早期に退院できるように、病院関係者との情報交換や相談に努めている。あるいは、そうした場合に備えて病院関係者との関係づくりを行っている。	A. 十分にできている B. <u>ほぼできている</u> C. あまりできていない D. ほとんどできていない	カンファレンス参加、送迎の支援など行っている		A. <u>十分にできている</u> B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	連携医院と体調管理行っている。必要時は大きな病院へ紹介予約の支援、通院の支援も行っている。
23	重度化や終末期に向けた方針の共有と支援	重度化した場合や終末期のあり方について、早い段階から本人・家族等と話し合いを行い、事業所でできることを十分に説明し	A. 十分にできている B. <u>ほぼできている</u>	入居前から話は行っている		A. <u>十分にできている</u> B. ほぼできている	施設で看取りケア行っている。必要時医院と家族と話す場を設けている。

		ながら方針を共有し、地域の関係者と共にチームで支援に取り組んでいる	C. あまりできていない D. ほとんどできていない			C. あまりできていない D. ほとんどできていない	
24	急変や事故発生時の備え	利用者の急変や事故発生時に備えて、全ての職員は応急手当や初期対応の訓練を定期的に行い、実践力を身に付けている	A. 十分にできている B. <u>ほぼできている</u> C. あまりできていない D. ほとんどできていない	勉強会での確認行っている。マニュアル、フローチャート作成している			
25	災害対策	火災や地震、水害等の災害時に、昼夜を問わず利用者が避難できる方法を全職員が身につけるとともに、地域との協力体制を築いている	A. 十分にできている B. ほぼできている C. <u>あまりできていない</u> D. ほとんどできていない	マニュアルある。訓練も年3回行っている。しかし、地域の住民と連携はできていない	避難訓練を行えている。地域との練習は過去に行っている	A. <u>十分にできている</u> B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	火災避難訓練年2回、水害避難訓練年1回と年3回の訓練を行っている。
Ⅲ. その人らしい暮らしを続けるための日々の支援							
26	一人ひとりの尊重とプライバシーの確保	一人ひとりの人格を尊重し、誇りやプライバシーを損ねない言葉かけや対応をしている	A. 十分にできている B. ほぼできている C. <u>あまりできていない</u> D. ほとんどできていない	接遇の勉強会や指導は行っているが、不十分である	接遇は改善していく必要があると思われる	A. 十分にできている B. <u>ほぼできている</u> C. あまりできていない D. ほとんどできていない	個人評価で接遇面が問題あると出たので、改善への取り組みを行っていく
27	日々のその人らしい暮らし	職員側の決まりや都合を優先するのではなく、一人ひとりの日常生活における希望や意向、暮らしのペースを大切に、その日をどのように過ごしたいか、希望にそって支援している	A. 十分にできている B. <u>ほぼできている</u> C. あまりできていない D. ほとんどできていない	夜間入浴など出来ることは行っている			
28	食事を楽しむことのできる支援	食事が楽しみなものになるよう、一人ひとりの好みや力を活かしながら、利用者と職員と一緒に準備や食事、片付けをしている	A. 十分にできている B. <u>ほぼできている</u> C. あまりできていない D. ほとんどできていない	常食、ソフト食、きざみ食、ミキサー食まで対応している		A. 十分にできている B. <u>ほぼできている</u> C. あまりできていない D. ほとんどできていない	ナリコマ食材を利用しているので様々な食事形態対応出来る
29	栄養摂取や水分確保の支援	食べる量や栄養バランス、水分量が一日を通じて確保できるよう、一人ひとりの状態や力、習慣に応じた支援をしている	A. 十分にできている B. <u>ほぼできている</u> C. あまりできていない D. ほとんどできていない	食事・水分摂取量のチェックを行い対応している			
30	口腔内の清潔保持	口の中の汚れや臭いが生じないよう、毎食後、一人ひとりの口腔状態や本人の力に応じた口腔ケアをしている	A. 十分にできている B. <u>ほぼできている</u> C. あまりできていない D. ほとんどできていない	毎食後口腔ケアは行っている		A. 十分にできている B. <u>ほぼできている</u> C. あまりできていない D. ほとんどできていない	必要な時は歯科受診支援も行っている

31	排泄の自立支援	排泄の失敗やおむつの使用を減らし、一人ひとりの力や排泄のパターン、習慣を活かして、トイレでの排泄や排泄の自立にむけた支援、便秘の予防等、個々に応じた予防に取り組んでいる	A. 十分にできている B. <u>ほぼできている</u> C. あまりできていない D. ほとんどできていない	つど話しあったり、カンファレンスでも話し合い対応している		A. 十分にできている B. <u>ほぼできている</u> C. あまりできていない D. ほとんどできていない	排泄表を使い本人の排泄状況の把握行えている
32	入浴を楽しむことができる支援	一人ひとりの希望やタイミングに合わせて入浴を楽しめるように、職員の都合で曜日や時間帯を決めず、個々にそった支援をしている	A. 十分にできている B. <u>ほぼできている</u> C. あまりできていない D. ほとんどできていない	本人の希望に対応し夜間入浴も行っている			
33	安眠や休息の支援	一人ひとりの生活習慣やその時々状況に応じて、休息したり、安心して気持ちよく眠れるよう支援している	A. 十分にできている B. <u>ほぼできている</u> C. あまりできていない D. ほとんどできていない	個人個人に合わせて対応している			
34	服薬支援	一人ひとりが使用している薬の目的や副作用、用法や用量について理解しており、服薬の支援と症状の変化の確認に努めている	A. 十分にできている B. <u>ほぼできている</u> C. あまりできていない D. ほとんどできていない	職員が服薬管理行っている		A. <u>十分にできている</u> B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	薬の管理は連携医院と連携行い職員が行えている
35	役割、楽しみごとの支援	張り合いや喜びのある日々を過ごせるように、一人ひとりの生活歴や力を活かした役割、嗜好品、楽しみごと、気分転換等の支援をしている	A. 十分にできている B. <u>ほぼできている</u> C. あまりできていない D. ほとんどできていない	本人の希望を聞いて出来ることは対応している	本人の希望あれば個別外出など行っている		
36	日常的な外出支援	一人ひとりのその日の希望にそって、戸外に出かけられるよう支援に努めている。また、普段は行けないような場所でも、本人の希望を把握し、家族や地域の人々と協力しながら出かけられるよう支援している	A. 十分にできている B. <u>ほぼできている</u> C. あまりできていない D. ほとんどできていない	随時、出来る範囲で対応している	管理者が対応している。学校や駐車場への散歩は初k 呪印が随時行えている		
37	お金の所持や使うことの支援	職員は、本人がお金を持つことの大切さを理解しており、一人ひとりの希望や力に応じて、お金を所持したり使えるように支援している	A. 十分にできている B. <u>ほぼできている</u> C. あまりできていない D. ほとんどできていない	希望あれば金銭の所持は OK している			
38	電話や手紙の支援	家族や大切な人に本人自らが電話をしたり、手紙のやり取りができるように支援をしている	A. 十分にできている B. <u>ほぼできている</u> C. あまりできていない D. ほとんどできていない	希望時は取り次いでいる			

39	居心地のよい共用空間づくり	建物内部は一人ひとりの身体機能やわかる力を活かして、安全かつできるだけ自立した生活が送れるように工夫している。共用の空間が、利用者にとって不快や混乱をまねくような刺激がないように配慮し、生活感や季節感を採り入れて、一人ひとりが居心地よく過ごせるような工夫をしている	A. 十分にできている B. <u>ほぼできている</u> C. あまりできていない D. ほとんどできていない	随時職員で話し合い環境整備は行っている		A. 十分にできている B. <u>ほぼできている</u> C. あまりできていない D. ほとんどできていない	居室、フロア的环境整備は職員がつど行っている
IV. 本人の暮らしの状況把握・確認項目(利用者一人ひとりの確認項目)							
40	本人主体の暮らし	本人は、自分の思い、願い、日々の暮らし方の意向に沿った暮らしができている	A. 十分にできている B. <u>ほぼできている</u> C. あまりできていない D. ほとんどできていない	穏やかに過ごせている			
41		本人は、自分の生活歴や友人関係、暮らしの習慣、特徴など様々な情報をもとに、ケア・支援を受けることができている	A. 十分にできている B. <u>ほぼできている</u> C. あまりできていない D. ほとんどできていない	本人・家族から情報収集おこない、ケアに役立てている			
42		本人は、自分の健康面・医療面・安全面・環境面について、日々の状況をもとに、ケア・支援を受けることができている	A. 十分にできている B. <u>ほぼできている</u> C. あまりできていない D. ほとんどできていない	必要あれば真下医院と連携して対応している		A. <u>十分にできている</u> B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	連携医院の往診がほぼ毎日あり、つど相談できている
43	生活の継続性	本人は、自分のペースで、これまでの暮らしの習慣にあった生活ができている	A. 十分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. <u>ほとんどできていない</u>	施設での生活の流れになっている	夜間入浴など行えることは行えている		
44		本人は、自分のなじみのものや、大切にしているものを、身近(自室等)に持つことができている	A. 十分にできている B. <u>ほぼできている</u> C. あまりできていない D. ほとんどできていない	持ち込みは自由となっている		A. <u>十分にできている</u> B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	持ち込みは自由である
45		本人は、自分の意向、希望によって、戸外に出かけることや、催(祭)事に参加することができる	A. 十分にできている B. <u>ほぼできている</u> C. あまりできていない D. ほとんどできていない	希望あれば対応している	勝手に出ることではできなくなっている。その対応は家族と話し合いを行い理解を得られている		

46		本人は、自分ができること・できないこと、わかること・わからないことを踏まえた、役割や、楽しみごとを行うことができている	A. 十分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	本人にあったレクやアクティビティの提供を行っている			
47	本人が持つ力の活用	本人は、自分がいきいきと過ごす会話のひと時や、活動場面を日々の暮らしの中で得ることができている	A. 十分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	職員が積極的に声掛けおこなっている		A. 十分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	役割活動は本人の ADL に合わせて行っている
48		本人は、自分なりに近隣や地域の人々に関わったり、交流することができている	A. 十分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	希望あれば対応するが、希望がない	自分で勝手に出かけて交流することはないが職員が付き添って交流は行っている		
49	総合	本人は、この GH にいることで、職員や地域の人々と親しみ、安心の日々、よりよい日々をおくることができている	A. 十分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	落ち着いて穏やかに過ごせている	入居者は落ち着いている。家族アンケートでも家族も安心できていると考えられる	A. 十分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	本人落ち着いている。家族も安心できている